

■ 年齢によるお肌の悩み

美容に関して以前と比べて気にしていること
40代以上の3人に1人の女性が

- 顔全体・口元のしわ、ほうれい線
- 肌のたるみ
- 肌のくすみ

をあげています

調査機関：NEOマーケティング
調査期間：2020年8月20日（水）～2020年8月21日（金）
対象者：登録モニターのうち、全国の20歳～79歳の女性1,100名を対象に実施

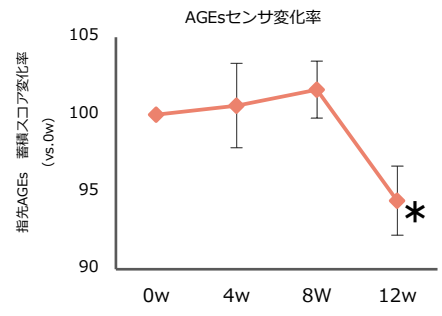
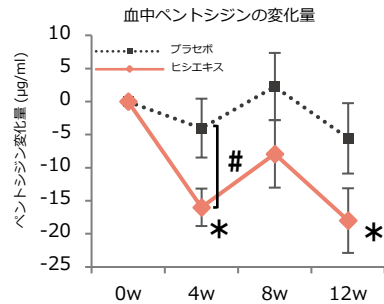
年齢を重ねることで肌の悩みも重なります



■ ヒト試験 AGEs低減・肌弾力向上・体感up

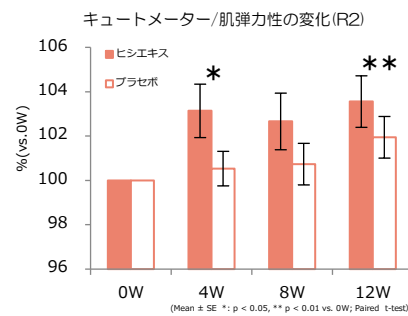
生体内のAGEs低減

ヒシエキス100mg/日 12週間摂取 左図：プラセボ対照試験 右図：オープンモニター試験



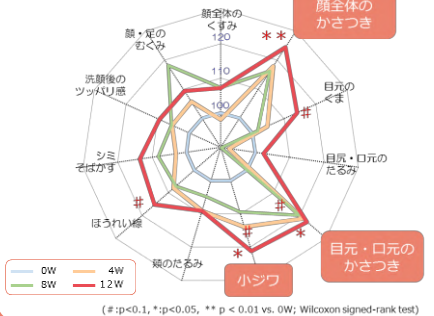
肌弾力向上

ヒシエキス100mg/日 12週間摂取 プラセボ対照試験



体感アンケート

ヒシエキス100mg/日 12週間摂取



■ ヒシエキスとは

林兼産業のヒシエキスは「トウビシ」の果皮が原料
約800種類の植物抽出物をスクリーニングして
得られた抗糖化活性の強い食品素材

ヒシエキスの抗糖化作用+糖化物分解
年齢によるお肌の悩み対策にいかがでしょうか？



■ 原因のひとつに糖化あり

蛋白質 + 糖

↓

AGEs Advanced Glycation End-products

糖化反応は蛋白質と糖が結合しAGEsを生成する反応です。
AGEsは加齢と共に皮下の蛋白質に蓄積し、肌弾力の低下、
しわ・たるみ、色素沈着をもたらすことが報告されています。



コラーゲンやエラスチンが糖化し皮膚弾力が低下

しわ部位のエラスチンにはAGEsが蓄積している

糖化が進むと肌のタンパク質は黄褐色化する

ヒシエキスの作用

糖化を抑制

糖化物分解

コラーゲンを主成分とするゼラチン溶液は糖化反応により褐変しますが、ヒシエキス存在下では糖化反応が抑制され褐変が起きません。またヒシエキス添加群において反応溶液中のAGEs量はコントロールと比較して少ないことを確認しました。



エラスチン：血管・肌・膝・バスト・肺



ヒシエキス：抗糖化・肌・血糖値・頻尿・毛髪



アスコフィランHS：肺炎・免疫力・血糖値・口臭

お問合せ・サンプル依頼
林兼産業株式会社
機能食品販売課

TEL: 083-267-1837
E-mail: kinou_info@hayashikane.co.jp



機能性紹介HPはコチラ！